

2025 年 8 月 19 日

各 位

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～株式会社岩瀬張建設～

株式会社北日本銀行（頭取：石塚恭路）では、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、株式会社岩瀬張建設（代表取締役：岩瀬張敏行）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

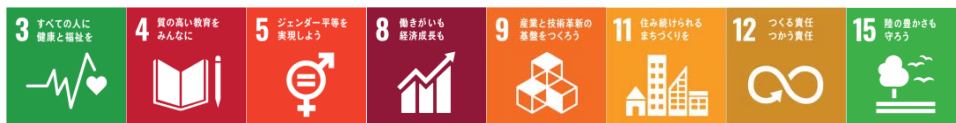
今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会 社 名	株式会社岩瀬張建設
所 在 地	〒028-0071 岩手県久慈市小久慈町 3-20
代 表 者	代表取締役 岩瀬張 敏行
業 種	建設業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：菅原） TEL：080-5125-4082

企業概要



iwasebashi

株式会社 岩瀬張建設

代表取締役 岩瀬張 敏行

(所在地：岩手県久慈市)



岩瀬張建設砕石場

当社について

当社は1955年に創業、1969年に法人設立した総合建設業者です。堅実経営と地域貢献を心掛け、創業の地である久慈市を拠点に、土木工事を中心として各種工事を請け負っております。また砕石・砕砂の生産販売各種も手掛け、各種インフラの基礎を担う建設業としての総合力の向上に努めてまいりました。

これまで当社は地域社会への貢献を重要なことと捉え、地域の清掃活動や募金活動に積極的に参加して参りました。これからも同様の意識を持ちながら、更に社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の構築に寄与して参ります。

また、これからも当社は社員の生活多様性の実現の為、定年後の雇用継続や作業効率化による勤務時間の適正化に努め、資格取得などの専門知識の習得や技術レベルの向上に対する支援も継続いたします。

今後も事業活動を通じた地域貢献、従業員の働きやすい環境づくりを行い、サステナブルな地域社会の発展に貢献してまいります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、水使用量削減や再生水利用、廃棄物の3Rの推進
従業員の働きがい	従業員の心の健康保持、女性活躍の推進、シニア活躍推進
地域社会への貢献	森林や山の自然の保護活動、寄付活動、地域とのコミュニケーション
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、不正の早期発見・防止策、業務効率化や生産性の向上

株式会社 岩瀬張建設 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2025年8月19日
株式会社 岩瀬張建設
代表取締役 岩瀬張 敏行

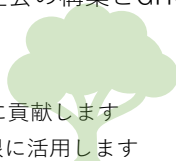
マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

環境保護に配慮した事業活動に取り組み、循環型社会の構築とGHGの削減に努めます。

▼目標・取り組み内容

- ・エコカーやハイブリッド重機の導入を優先しGHG削減に貢献します
- ・再生水使用の作業工程により、限られた水資源を最大限に活用します
- ・アスコンがらの再利用により廃棄物の3Rを推進します



従業員の働きがい

ワークライフバランスとダイバーシティを意識した経営により永く安心して働ける環境を整えます。

▼目標・取り組み内容

- ・職場要因でのメンタルヘルス不調の発生を絶無といたします
- ・いわて女性活躍企業認定を取得しております
- ・定年後の継続雇用を選択しやすい環境を整備いたします



地域社会への貢献

山林等地域資源の有効活用と保護を意識した取り組みやボランティア活動により、住みよいまちづくりに貢献します。

▼目標・取り組み内容

- ・砕石地への植林活動により、自然保護に貢献します
- ・地域活性化に向けた活動に積極的に寄付を行います
- ・清掃等のボランティア活動に積極的に参加いたします

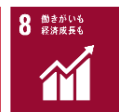
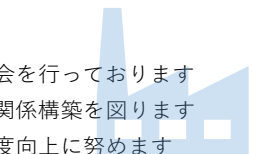


コンプライアンス・ガバナンス

法令等遵守最優先の社内体制整備と業務効率化を推進します。

▼目標・取り組み内容

- ・外部コンプライアンス研修への参加と社内勉強会を行っております
- ・内外共に円滑なコミュニケーションによる信頼関係構築を図ります
- ・業務効率化と品質管理の徹底により、顧客満足度向上に努めます



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」】